

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子・女子共に、上体起こしや長座体前屈などの柔軟性や筋持久力が優れている。
- 男子・女子共に、50m走や反復横跳びなどの俊敏性に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があつた取組

- ・グループ活動・交流を通じて、どうすればチームの力をのばすことができるか振り返る活動を設定したこと。
- ・できるようになったことを自覚できる、自己評価や振り返り活動を設定したこと。
- ・用具、ルール、場の設定を工夫したこと。

②改善を図る点

- ・朝食摂取率を向上させるために家庭への呼びかけを実施する。
- ・前期初旬に俊敏性を高める学習を行い、年間を通じて俊敏性向上に取り組めるようにする。
- ・体育科の授業の中でタブレットを活用し、自分の動きを確認する機会を設定する。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・スポコン広場を活用し、運動の楽しさや達成感を味わうことができるようにすること。
- ・個に応じたためあてをもち、振り返りを行う学習活動の工夫。